

# 十月例会 御案内

(平成二十九年・通算第六七八回)

## 公益財団法人 協和協会

### ○ 御案内

十月二十六日(木) 正午～午後二時半  
講題 儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇

参議院議員会館 一階・一〇二会議室

講師 ケント・ギルバート先生(知道家・学者・評論家・弁護士、日本に関する著書多数)

人間は一般に、目が外に向いてついでに内を覗いて見ている。他人のことはいろいろと目につきませんが、自分の性格などはよく分らないものです。民族や外国人についても同様で、風俗・生活習慣は見て分かるとして、その民族の内性などは分かりにくいものです。特に、中国人や韓国人は、外観が似ていて、しゃべらなければ、何国人か分からないくらいです。そうした中で、在日四十年の親日家とはいえず、アメリカ国籍のケント・ギルバート先生には、先年、『儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇』と題する御著書を上梓され、大きな反響を呼んでおります。この本は、日本人はじめ韓国人や中国人にも接する機会が多い先生が、この三カ国の民族を比較して、その内性の違いを知り、その差異は中国古典の儒教の受入れ方にある、と喝破されたものです。先生は日本語が達者です。奮っての御参加をお待ちいたします。(清原記)

### 公益財団法人 協和協会

当日連絡先

080-8836-6203 重田  
080-9292-2620 高津

十月二十六日(木)の月例会に

<http://www.kyowakyokai.or.jp>

出席 欠席 (いずれかに〇印を)

電話 03-3581-1192  
FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様の FAX  
メール

▽十月二十四日(火)までに出席の御連絡賜りたく。

### ○ 御報告

去る九月二十六日の月例会は、当協会の代表理事兼会長代行の岸信夫衆議院議員が近年ずっと議員運営委員理事、国会対策副委員長、外務副大臣といった極めて忙しい役職でしたので、遠慮しておりましたが、臨時国会が始まるまでの休会の間であればと思いついて、この日、お願いして「これからの国政のゆくえ」と題して講話いただく予定でございました。ところが、丁度この日が解散日となり、この日のご出席はむずかしいと思っております。また、この日、極めて忙しい中を駆けつけて下さり、総選挙へ臨むにあたっての決意表明をされましたので、出席者一同、その出陣にあたり「エイエイ・おう！」を唱和し、お送りしました。そのため、この日、すでに「北朝鮮、中国・ロシアの動向、対する韓国・トランプ米大統領の本社元編集局長・副主筆の浅海保先生に、お話を中断いただき、ありがとうございます。その内容は、上記のように、現状の国際情勢の中で、では日本はどう対応すべきかという極秘的内容ですので、それは当日の浅海先生のお話は、まず内容の分析力で驚くばかりではなく、当日のために御用意くださったスライドが、写真や図表や強調すべき枠囲い文章の配置が、実に分かりやすく編集されて、その頭脳明晰さに敬服いたしました。流石に、天下の読売新聞の第一線記者をされた上、編集部門も長く、そして編集局長・副主筆をされたお方だなと、只ただ感銘いたしました。その後の質疑応答・意見交換も盛んでした。(清原記)

### ▽ 当「公益財団法人 協和協会」とは、

昭和四十九年、岸信介元総理によって創立された財団。活動趣旨は、「政党・派閥・利害・打算の次元を超えて、真に国家的課題を調査研究し、特に重要課題は、政府宛要請書を作って、時の政府へ提出する」ことにある。昭和五十四年から本格活動に入り、月例講話会のほかに、八つの部会と、五、六の委員会があり、これまでに百三十七本の要請書を時の政府へ提出している。第二代会長は福田赳夫元総理、第三代会長は桜内義雄元衆議院議長、第四代会長は塩川正十郎元財務大臣、第五代会長代行として、江口一雄元衆議院議員、現在、第六代は代表理事兼会長代行として、岸信夫衆議院議員・前外務副大臣が就任している。

▽ 事務局電話 (03) 3581-1192

代表理事兼専務理事・清原淳平、総務 重田、高津